

語れる問いで多様な読みに出会おう
— 「大造じいさんとガン」を審美しながら読む—
についての実践報告

杉並区立荻窪小学校 阿木智華

1 はじめに

PYP (Primary Years Programme)は3歳～12歳までを対象としており、精神と身体の両方を発達させることを重視しているプログラム。

PYPのカリキュラムは、国際教育の文脈において不可欠とされる、人間の共通性に基づいた以下の6つの教科横断的なテーマを授業で取り扱う。

私たちは誰なのか

私たちはどのような時代と場所にいるのか

私たちはどのように自分を表現するか

世界はどのような仕組みになっているのか

私たちは自分たちをどう組織しているのか

この地球を共有するということ

1 はじめに

セントラルアイデア
「私たちは美を鑑賞することで
多くのギフトを手にする」

教科の枠を超えたテーマ	説明(ディスクリプター)
私たちは誰なのか Who we are	①自己の本質 ②信念と価値観 ③個人的、身体的、心理的、社会的、精神的な健全さ ④家族、友人、コミュニティ、文化圏を含めた人間関係 ⑤権利と責任 ⑥人間であるということの意味
私たちはどのような場所 と時代にいますのか Where we are in place and time	①空間的・時間的な位置づけ ②個人の歴史 ③故郷と旅 ④人類による発見、探検、移住 ⑤地域社会とグローバルの観点から見た個人と文明の関係および それらの相互のつながり
私たちはどのように自分 を表現するか How we express ourselves	①アイデア、感情、自然、文化、信念、価値観の発見と表現 ②私たちは自分の創造性をどのように振り返り、発展させ、楽しむのか ③私たちはどのように美を鑑賞するのか
世界はどのような仕組み になっているのか How the world works	①自然界とその法則 ②自然界(物理学的・生物学的)と人間社会の相互作用 ③科学原理の理解を人間がどのように利用しているか ④科学と技術の発展が社会と環境に及ぼす影響
私たちは自分たちをどう 組織しているか How we organize ourselves	①人間がつくったシステムとコミュニティの間の相互のつながり ②組織の構造と機能 ③社会のなかで下される意思決定 ④経済活動と人類および環境への影響
この地球を共有するとい うこと Sharing the planet	①限られた資源を他の人々や生物と共有するにあたっての権利と責任 ②コミュニティとその内外の関係 ③平等な機会へのアクセス ④平和と紛争解決

1 はじめに

Unit 6 How we express ourselves
TDT 美の鑑賞

Line 1 美の定義 (特徴)

「美しい」ってなんだ? どう決まるんだ?
状態? 条件は?
・時代によって違うから? (美の反対は?)
・場所(国) (醜? 汚?)

黄金比
図

事例) みる先生・大塚先生に
話を聞く

事例) デザイン / 何もなし
比較

ATL: 何が(何を)見る? 何を(何を)見る?
どこで見る? 何で見る?

Line 2 美の (機能)

美しいものを鑑賞すると
どんなメリットがある?

・リフレッシュ (心の安定)
・感性 感受性 UP
→ 自分に取入れられる

・刺激 → 異なる文化を知れる
・共感、コミュニケーション (対人)

思考スクリプト (思考の意思)
分析する、最終で美の意識を
考察する

ATL!!

写真 字 言葉
美術 (絵画、彫刻、音楽、文学)
自然
デザイン、アーキテクチャ (建築)
人間 (姿勢、心)
動き ← 道徳的は...

わたしたちは美を鑑賞することで
多くのギフトを手にする

↑
関連
教科

- 図工
- 音楽
- 道徳
- 算数
- 体育
- 国語

SAT

★ 私が美しいと思ったもの (こと)
何か一つ決めて、
学習員になったつもりで
解説

Line 3 美の鑑賞 (視点)

ATL: コミュニケーション・情報の交換 (解説者)
・美しいって比べられる? どう見たらいい?
ex) 調和、色彩、バランス
形態、対称性

★ 美の鑑賞に知識は必要なの?
or 感性?

事例) 解説文あり } 比較
ATL

深めたい概念的的理解

- ・「美しい」や「美」は人によって異なる
時や場が変わる
- 自分の見方、感じ方とともに人のことも大切にする
- ちがっているっておもしろい!! 柔軟性、ホスピタリティ
- ・見る目を養うってことが大切。観察分析
→ そのための知識は多少必要。あってもいい。
知るこ + 触れるこが第1歩
- ・美を鑑賞することには多くのメリットがある
→ 人生を豊かにする。

対象は?
保護者 or 卒業生、or 同級生

A 正正

お金もち
日本人からみたら憧れる

ツルツル
ゴージャス

めずらしい

華やか
すてきな

白で統一

B 正正正下

しんが
見慣れて
いる

ムダなもの
少ない

整っている
すてきな

落ち着いたかんじ



A



B



A 正一



きっちり揃っている (木の高さ)
 人工的に作られた「美」
 きちっとしているけど まざっている 複雑多様

芸術的

うっかりこんでいるのが
 キレ
 左右対象.

芸術 / 書写

B 正正正下



和が強調
 自然感が出る 自然に合わせる。
 ↳ バラバラ 不揃い
 異和感が少ない なじんでいる
 落ちつく感じ

めずらしい

VS

なじみがある
 (おちつく)

揃っている

VS

自然(バラバラ)

A. 大正9年
橋口五葉



B 令和5年
宮崎優



A



大正なら
美しいのかも
今の感覚的には...?

時代

大人・子ども

世代

性別

① よれかして
髪のをを引っぱて
いる

色(肌色)
表情が
感じられない

その人毎に

価値観

B
正
正
正
正
16



① 美を感じるポイント

視線 → はかなさ
着物の柄 → 複雑さ

色 × リン
顔しゅべにしている
髪の毛 糸田かい
× イク感

① 肌白さ
→ 現実的か
ない
小布さ

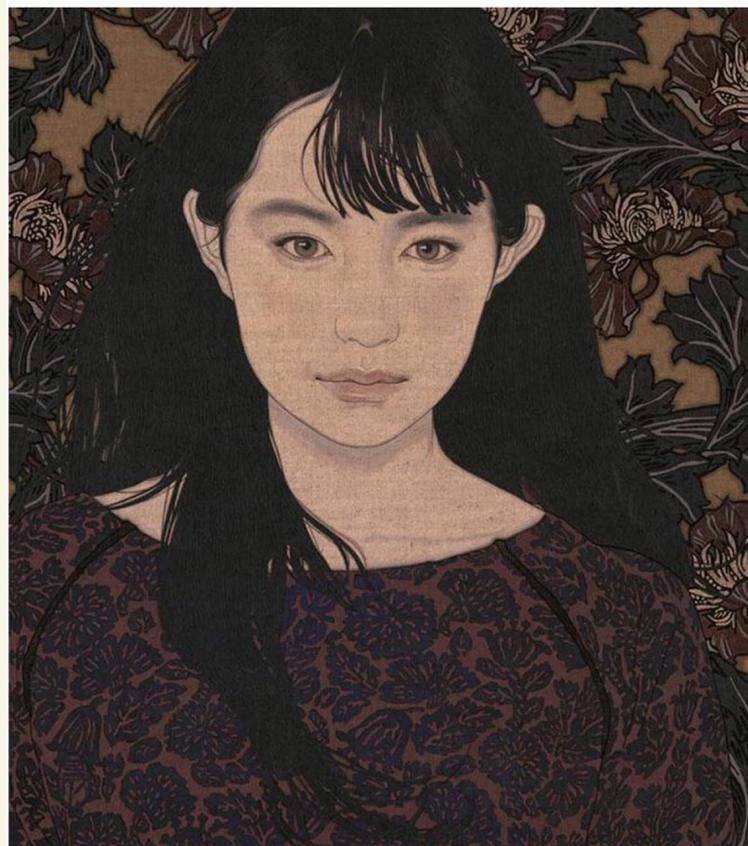
絵そのもの

C どちらにも感じる T
2

完成までの行程
→ 作者の姿勢
時代毎の違

D どちらにも感じない 正正 T
12

そのものに
絵に対して
おかしさはない



どれがいちばん“すばらしい”? → それはなぜ?



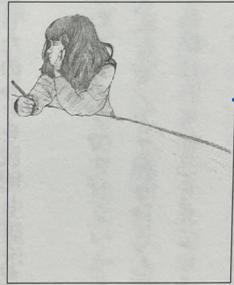
1



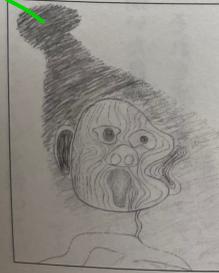
2



3



4



5



6

リアル. バランスとれている
かげが
現実的(髪の毛の長さ、分け目)
系図かけ. バランス
とれてるよ

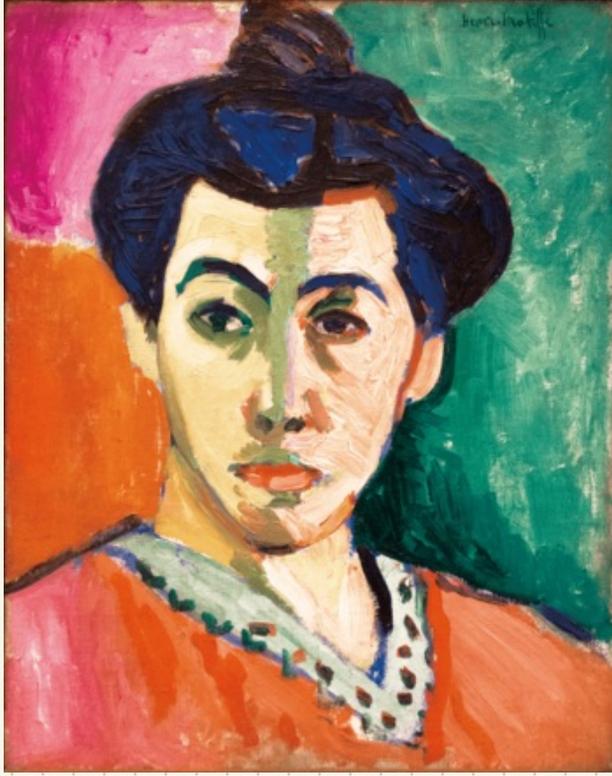
変な顔 自分以外の表現
↳ 自分らしさ

△絵のうまさ 独特さ
みんなとちがう
↳ 意図を感じる

遠くに1人ぼち
↳ さみしさ. (おぼろ)
リアルに感じる
感情をあらわしている
↳ アイデアがよい!
+ 糸のバランス
他の人とちがう:
あらわし方. おもしろい

リアルっぽい

アンリ・マティス「緑の筋のあるマティス夫人の肖像」



① なんで筆がかいとそうえたい？

② 左右で顔の色がちがう？

③ 緑のたて線が入っているのは？ タイトルにもあるけど...

④ 背景の色は 何を表している？

⑤ 色だけでボヤッと描いたのは？

アンリ・マティス「緑の筋のあるマティス夫人の肖像」



① 顔の色がちがうのは？

暗い色
 左 → 昔・若いとき
 右 → 今・老いた
 ↑ 若いときのことをなつかしく思っている

背景も...

左... きれい・整っている
 右... (じいおらと)、ぐちゃぐちゃ

黄 (1+1) 青
 緑

左... 自分) 2人で7-セット!!
 右... 妻

背景の色..

楽しいこと、辛いこと
 サイクル
 or 人生



アンリ・マティス「緑の筋のあるマティス夫人の肖像」



名前()

この絵に 美しさを感じる・感じない

気付いたこと

顔つきが男小生っぽい
目線 右と左 ちがう

黒おutil使われていない
あえて使われてからの?

色 背景 ピンク 緑 オレンジ 3色
 ↓ ↓ ↓
 (空の色 森 太陽) グラデーション
 濃淡がある
 顔 左右非対称 右が茶、左は緑
 目の周りが茶

形・りんかく 体はため顔正面

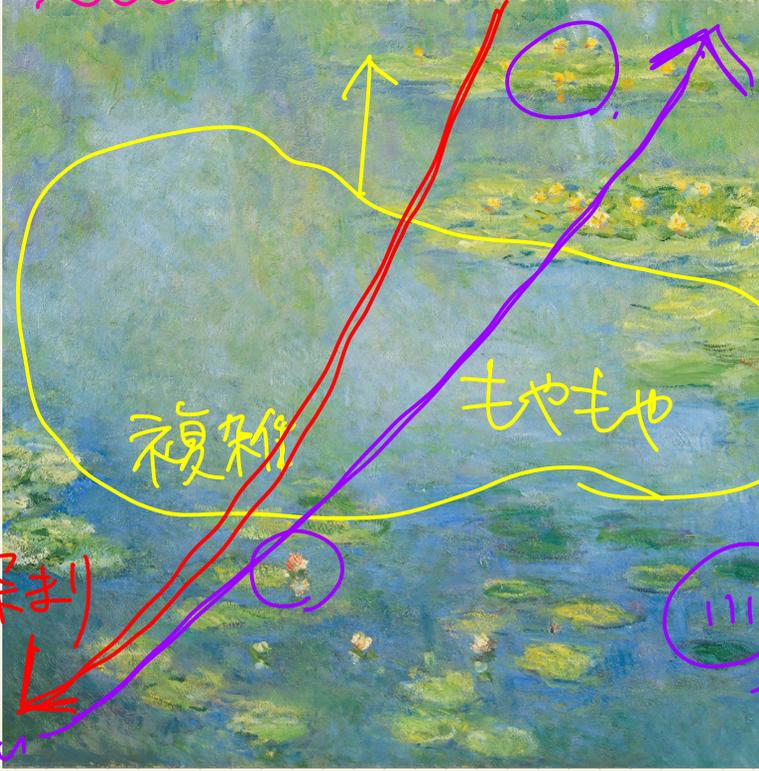
なんでこんな書き方
LT=なんだ??

筆づかい 色がぬらぬら → ポンポンってのつけているかな?
 色んな方向からぬられている あえて

クロード・モネ「睡蓮」

名前()

明



複利

もやもや

絵と見子

方向

深み

暗
かげつ(影)

水の中
かげ

この絵に美しさも
気付いたこと

感じる
正正正
正下

— 感じない
正

色. 形. 筆使い

光の表現?

寒色系 (青. 緑. 紫)
多い

暖色系
目立つ

濃

薄

境があいまい

感情の表現、人生を表現

(問) 「もやもや」はなんだろう...
題名のなぜ

カエリはいたいの?
なぜ「睡蓮」?

1 はじめに



2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

①単元の概要

1. 単元名

語れる問いで多様な読みに出会おう

2. 単元の目標

登場人物の相互関係や心情を捉えたり、表現の効果を考えたりしながら読むことで、審美することができる。

また、自分の「美しさ」に対する見方・考え方を自覚するとともに、友達の見方・考え方を知り、広げたり深めたりすることができる。

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

①単元の概要

美を追求することによって、心が豊かな感情で満たされたり、創造性や想像力を高めたりすることができる。

また、人との感じ方の違いや自分自身の感じ方を自覚することにもつながる。現在、**VUCA**時代と言われ、世界が変化するたびにその都度「新しい正解」を見つけることは困難を極める。急速にシステムやルールが変化していく中で判断していくためには、自分の内面と向き合い「自分なりの答え」を作り出していく力が求められるであろうし、そのためには自分の直感や倫理観・審美眼を磨いていくことが大切であると考え。

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

①単元の概要

今回の単元は「文学（大造じいさんとガン）」を切り口に、美しさについて考えていく。

「美」という切り口を使うことで、内容についての問いだけでなく、評価についての問いや学習者自身の問いが生まれ、それらの問いについて考えることで、解釈の多様性が生まれると考える。具体的には、子どもたちが「ここが・これは『美しい』と思うんだけど、みんなはどう思う?!」と語れる問いを立て、それぞれが読んだことや読んだことから感じたことや考えたことを伝え合う中で、自分の美意識を自覚したり、人との感じ方の違いに気づいたりすることができるようにしたい。さらに、審美しながら読んだことで、どのようなギフト（価値）を手にすることができたのかを振り返らせたい。

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (1/10)

- ・ 範読を聞き、この作品の中に「美しさ」はあるかどうか立場を決める。

<p>分からない 田代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間を助ける残雪とチャンスのために打たなかった大造。きれいだけど...果たして「美しい」のか? 最初はわからなかったのに? 	<p>ある 高橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景色の表現 ・ 大造の気持ちの変化 (打たずにいたのにやめた) 	<p>ある 田川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の行動力 (中間を助ける。最後まで堂々) ・ 大造の行動力 (残雪をいかに→堂々とたたく) 	<p>ある 山口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の心 (中間を守ろうとする) ・ 大造と残雪の関係 ・ 情景描写 	<p>ある いいか</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 大造じいさんと残雪の関係 ② 表現の仕方(情景) 	<p>ある この</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造 → 残雪 ・ ガンに文に対する考えが変わった
<p>ない(感じない) 河西</p>	<p>ある こうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の行動(中間を助ける) ・ " 態度(いげん) ・ ガン1つの行動が大造じいさんの考えを変えた。 	<p>ある 田口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造 (ガンをとる強いしせい) ・ 残雪 (堂々としたしせい) 	<p>分からない さと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の中間を大切にするのは裏のことで。→美しいは思わない ・ 表現方法(情景)は美しい...? 	<p>ある ふくら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪(中間を救う) ・ 大造(呼びかけ) 	<p>分からない つるた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人の関係で「不思議」はある ・ でもそれが「美しい」? 何が「美しい」?
<p>ある 村上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の心(中間想い) ・ 大造じいさんのすくなくない戦い方 	<p>ない(感じない) 橋澤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の中間を助ける優しさ、ゆうかんさは感じた ・ 大造がしゅうを下ろしたときに心がきれいだとは感じた。 ・ →それで「美しい」なの?! 	<p>ある 小林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪(危ない目に合うと分かっていながら、中間を守ろう) ・ 大造(残雪をはたす自分の気持ちで信じて) ・ 筆者(自分の中だけ読者に伝える) 	<p>ある 林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造の心(ひきょうな手をつかいたくない) ・ 残雪(中間おもしろい) ・ 描写(情景) 	<p>ある うつみや</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造 ・ 「ただの鳥」に文に対している気がしない ⇒ 心境の変化 	<p>ある ましの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪が中間を助けた ・ 大造じいさんの心が重かった ・ 4場面情景(お晴れた)
<p>ある 加部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の中間想いの心、姿 ・ 大造の心(チャンスのために打たない) ・ あかつきの光(描写) 	<p>ある 入江</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.237「先羽音1番...」未来に飛ぶゆえ美しい。 ・ P.237「晴ればれ...」寄り添っているようで美しい。 	<p>ある 清水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造じいさんの心(絶対にしめたかったのに、チャンスがあったのに、しゅうを下ろした) 	<p>ある 中村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文の表現(自明、7日 飛ぶ所) ・ 残雪の名前 	<p>ある おかわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の姿(いげん...の文章) 	<p>ある みうら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の自分のことをかきみず、相手の心をゆうせんする心 ・ 大造の利益だけじゃない心
<p>ある 松原</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪(中間おもしろい) ・ 描写 	<p>ある 北村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の想い(中間を助けた) ・ 景色の描写 	<p>ある 平川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の心(中間を助ける) ・ 大造 (すきがあっても打たない) ・ 景色 	<p>ある ありま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造の心(すくらわしたてた中間を助けるのを見て殺す、助けた) ・ おうい...の呼びかけ 	<p>ある はぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の中間を想う姿(責任) ・ 大造と残雪の関係(ラムシで別な考え) 	<p>ある さと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪の心(おりのガンで自分の身をきせいで助ける) ・ 大造の心(残雪を英雄としてたてる)

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際 ②授業の実際 (1/10)

- ・ 範読を聞き、この作品の中に「美しさ」はあるかどうか立場を決める。

全30人

「ある」…25人

「わからない」…3人

「ない」…2人

分からない 田代 ・仲間を助ける残雪とチャンス のために打たなかった大造。 ささいなけれど、果たして美しさの 最初はわらでたの？	ある 高橋 ・景色の表現 ・大造の気持ちの変化 (打ちわけていたのに やめた)	ある 北川 ・残雪の行動 (仲間を助ける 最後まで) ・大造の行動 (残雪をいかに たのむか)	ある 山口 ・残雪の心(仲間を助けた こと) ・大造と残雪の関係 ・情景描写	ある いづか ①大造じいさんと 残雪の関係 ②表現の仕方(情景)	ある この ・大造 → 残雪 ガンに文する考えが 変わった
ない(感じない) 河西	ある コウジ ・残雪の行動(仲間を助ける) ・ " 態度(いげん) ・ガン1つの行動が大造じいさんの 考えを変えた。	ある 田口 ・大造(ガンをもっと強いらせいで やめた) ・残雪(憎むとしたしむ)	分からない さゆ ・残雪の仲間と大造にするのは 悪口とでき。→美しいは 悪くない ・表現方法(情景)は 美しい…?	ある ふくら ・残雪(仲間を助けた) ・大造(呼びかけ)	分からない つた ・2人の関係で「不思議」は ある でもそれが「美しい」? 何が「美しい」?
ある 村上 ・残雪の心(仲間思い) ・大造じいさんのすくなくない 美しさ	ない(感じない) 横澤 ・残雪の仲間を助ける 偉い。 あうんでは感じた ・大造が(じい)を下ろしたとき に、心がきれい。とは感じない。 →それ「美しい」なの!!	ある 小林 ・残雪(あんな目にも合点 しなから、仲間を助けた) ・大造(残雪をはなす 自分の気持ちで) ・筆者(自分の中から、読者に 伝える)	ある 林 ・大造の心(あんな目にも つたてない) ・残雪(仲間思い) ・描写(情景)	ある うのゆ ・大造 「ただの鳥」に文すして いる気がしない ⇒心境の変化	ある ましの ・残雪が仲間を 助けた ・大造じいさんの心が 変わった ・4場面情景(お晴れた お晴れた)
ある かほり ・残雪の仲間思いの心。姿 ・大造の心(チャンスのために 打たない) ・あつきの光(描写)	ある 入江 ・P.227「快、羽音1番…」 未来まで読んでみて美しい。 ・P.227「晴れ(おれ)」 毎日しているように美しい。	ある 清水 ・大造じいさんの心 (絶対にしどめたのに、 チャンスがあったのに しどめを下した)	ある 中村 ・文の表現(自明、9日 残雪の名前)	ある おゆ 残雪の姿 (いげん…の文章)	ある みうら ・残雪の自分ことと受け取 相手の心と受け取る心 ・大造の利益だけではない心
ある 松原 ・残雪(仲間を助けた) ・描写	ある 中村 ・残雪の想い(仲間を助けた) ・景色の描写	ある 平川 ・残雪の心(仲間を助ける) ・大造(「すくなくない」 打たない) ・景色	ある あほ ・大造の心(すくなくない 仲間を助けた) + あうん…の 呼びかけ	ある はぶ ・残雪の仲間を 助けた(責任) ・大造と残雪の関係 (チャンスで助けた 情景)	ある さとう ・残雪の心(あうんを 受け取って助けた) ・大造の心(残雪を英会話 してたてる)

- ・ 残雪の心 (仲間思い)
- ・ 大造の心
- ・ 二人の関係
- ・ 情景描写、文章の表現

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際 ②授業の実際 (1/10)

・ 範読を聞き、この作品の中に「美しさ」はあるかどうか立場を決める。

全30人

「ある」…25人

「わからない」…4人

「ない」…1人

わからない 田代 ・仲間を助ける残雪とチャンス のために打たなかった大造。 ささいだけれど...果たして美しさの 最初はわかってたの？	ある 高橋 ・景色の表現 ・大造の気持ちの変化 (打つてはいたのにやめた)	ある 北川 ・残雪の行動 (仲間を助ける最終まで) ・大造の行動 (残雪をいかに追いつけたか)	ある 山口 ・残雪の心(仲間を助けた こと) ・大造と残雪の関係 ・情景描写	ある いづか ①大造と残雪の関係 ②表現の仕方(情景)	ある こま ・大造 → 残雪 ガンに文する考えが 変わった
ない(飛しない) 河西	ある コウジ ・残雪の行動(仲間を助ける) ・ " 態度(いげん) ・ガン1つの行動が大造にしろの 考えを変えた。	ある 田口 ・大造(ガンと強いしせい) やせし ・残雪(憎しめたしせい)	わからない さゆ ・残雪の仲間と大造にするのは 無理とでき... → 美しいは 飛べない ・表現方法(情景)は 美しい...?	ある ふくら ・残雪(仲間を助けた) ・大造(呼びかけ)	わからない フジタ ・2人の関係で「不思議」は ある でもそれが「美しい」? 何が「美しい」?
ある 村上 ・残雪の心(仲間思い) ・大造じいさんのすなわち 業方	ない(飛しない) 横澤 ・残雪の仲間を助ける 偉い。 仲間としては飛した ・大造が(じい)を下ろした時に 心がきれい、とは飛した。 ↳ 飛して「美しい」なの!!	ある 小林 ・残雪(あんな目に会った しかなかった。仲間を助けた) ・大造(残雪をはなす 自分の気持ちで飛ぶ) ・筆者(自分の中から残雪を 追いつけた)	ある 林 ・大造の心(あんなに つらい) ・残雪(仲間を助けた) ・描写(情景)	ある うのゆか ・大造 「ただの鳥に文す ている気がしない」 ⇒ 心境の変化	ある マシノ ・残雪が仲間を 助けた ・大造じいさんの心が 動いた ・4場面情景(お晴れた とき)
ある かほり ・残雪の仲間思いの心。姿 ・大造の心(チャンスに 打たない) ・あつきの光(描写)	ある 入江 ・P.227「快い音1番...」 未来まで飛ぶのが 美しい。 ・P.227「晴れ(はれ...) 舞っているように 美しい。」	ある 清木 ・大造じいさんの心 (絶対にしどめたのに、 チャンスがあったのに しどめを下した)	ある 中村 ・文の表現(自明。9日 飛ぶ所) ・残雪の名前	ある おかわ 残雪の姿 (いげん...の文章)	ある みうら ・残雪の自由こと 相対の心と 大造の利益だけではない
ある 松原 ・残雪(仲間を助けた) ・描写	ある 中村 ・残雪の想い(仲間を助けた) ・景色の描写	ある 平川 ・残雪の心(仲間を助けた) ・大造 (すなわち 打たない) ・景色	ある あほ ・大造の心(すなわち 仲間を助けた こと) + あつきの 呼びかけ	ある はぶ ・残雪の仲間を 思う姿(責任) ・大造と残雪の関係 (チャンスに打たない こと)	ある さとう ・残雪の心(あんなに つらい) ・大造の心(残雪を 助けたこと)

・ 残雪の仲間を思う気持ちは勇敢ですてき...と思うけどそれって「美しい」なの？

・ チャンスだったのに打たなかった大造は「美しい」と言えるのかな？最初は狙ってたのには？

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (2・3/10)

- ・内容の大体を捉える (登場人物、構成、あらすじなど)

タニシ5俵ってあるけど、1俵60kgらしいから300kgってことらしいよ。

すごい集めてるじゃん…もはや執念って感じがするね。

ハヤブサって時速300kmにもなる急降下で獲物を蹴落として狩るんだって。

とんでも無い速さだね。肉食だからこんなに爪もくちばしもするどいんだね。

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

今日の話し合い 残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったこと

感じた	悩んでいる	感じなかった
<ul style="list-style-type: none">○ 気持ちとかどうでもいいねん! もうその行動が美しい○ だって肉食に立ち向かったんだよ!!○ だって木だってらムリ...	<ul style="list-style-type: none">○ あれって大造目線だから 心情が分からない... (意図)	<ul style="list-style-type: none">○ いや素晴らしいとは思わ... でも頭領なら 当然じゃん?!
↓	↓	↓
① 行動・事実を重要視	② 気持ち、意図を重要視	③ レアさを重要視
	<ul style="list-style-type: none">○ 勇かんだよね～、いさまいな～ すごいよね～とか感動 → これって「美しい」よね?!	

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

今日の話し合い 残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったこと

感じた	悩んでいる	感じなかった
<ul style="list-style-type: none">・気持ちとかどうでもいいねん! もうその行動が美しい・だって肉食に立ち向かったんだよ!!・だって木が倒れたらムリ...	<ul style="list-style-type: none">・あんな大造目線だから 心情が分からない... (意図)	<ul style="list-style-type: none">・いや素晴らしいとは思わ... でも頭領なら 当然じゃん?!
↓	↓	↓
① 行動・事実を重要視	② 気持ち、意図を重要視	③ レアさを重要視
	<ul style="list-style-type: none">・勇かんだよね～、いままいいな～ すごいよね～とか感動 → これって「美しい」よね?!	

2 「語れる問 ②授業の実際

- ・「語れる問い」
～残雪が仲間を救

お友
感じる 感動・他の人にはできないか、こい
ふり返り
今回は探究などで「美しい」と感じる事が全てでしたが、初めて「悩む」ことがありました。原因は「気持ち」だと私は思いました。なぜなら、残雪を見た目で見たとしても、そのまま「美しい」とは思いません。でもこれは実物を見て分かることです。残ったのは目に見えない心情です。ですが、この物語は大造じい目線で書かれていますので、残雪の気持ちには予想しれません。だから、みんなの意見がちがうのだと思えます。(概)
これから、「美」を見て考えるなら、その中に込められた思いを予想したり、いろんな視点で考えていきたと思いました。

2・23
① 残雪に「美しさ」を感じた・感じない・悩んでいる
② どこに？
① 残雪が仲間を助けようとハヤブサと争っていた
② 「美しさ△勇気・優しさ○」
残雪が仲間を指導していた(ワナをさけた)
「美しさ△優しさ」
どうなったら「美しく」なっていた？
① 残雪の心情がくわしく書かれていたり
「救いたい・仲間を助きたい」 命 ↓ 直
② 頭領として当たり前 ↓ 当然

行動から「勇気や優しさ」は感じるけど、この物語は大造じいさん目線で書かれている物語だから残雪の意図がわからないと、「美しさ」は悩む…
⇒児童にとっては「美しさ」は意図や気持ちが決め手になる

2 「語れる問い」で多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったこと

②

私を感じる↓悩んでいるなりました。たしかに全て大造目線だから、残雪の気持ちからは分からないな。ってなりました。残雪がもし、え、頭領だからしかたないから、って感じていたのなら、美しさはないし、「あ、仲間が困ってる、助けはきいて、って本当に思ってたのなら美しいな」と思いました。

あゝ、気持ちによって変わる、ということね!!
意図

残雪の美しさについて読んで話し合おう
感じた!!
なぜなら... 久しぶりに会った仲間を助けたから(心)
知えを働かせるところ、いげんを守ろうとする

どういう美しさ?
じゅんすいで優しい心をもっている「キズナ」「せんさ」と、目で見えない
そうでもないものレフなもの

悩んでいる
・あ、大造目線だから
心情が分からない...
(意図)
↓
⑥ 気持ち、意図を
重要視

感じなかった
・いや、素晴らしいとは思えないよ... でも頭領なら
当然じゃん?!
↓
⑥ レアさを重要視

児童Hも「美しさ」の決め手は意図や気持ちだと考えている。当初「大造目線」ということに気づかず、残雪の仲間を助けた心が「美しい」と考えていた
⇒交流を通して「悩む」に変化

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

今日の話し合い 残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったこと

感じた	悩んでいる	感じなかった
<ul style="list-style-type: none">・気持ちとかどうでもいいねん! もうその行動が美しい	<ul style="list-style-type: none">・あんな大造目線だから 心情が分からない... (意図)	<ul style="list-style-type: none">・いや素晴らしいとは思わ... でも頭領なら 当然じゃん?!
<ul style="list-style-type: none">・だって肉食に立ち向かったんだよ?!・だって木っ端ならムリ...	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">⑥ 気持ち、意図を重要視	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">⑥ レアさを重要視
<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">⑥ 行動、事実を重要視	<ul style="list-style-type: none">・勇かんだよね～、いさまいな～ すごいよね～とか感動 → これって「美しい」よね?!	

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

あ〜！最高!! これ江アして
おもしろい... ほいね〜!!

おとり返り

わたくしは意見が変わらなひままでした。残雪が仲間のために戦った
か分からなくてもわたしが美しいと感じたのは行動からだから、
心の中はどうでも良いです。事実だけめきこるこ、おとりのがこが
ハヤブサにけられた↓残雪がこびだしてハヤブサと戦ったこいうこです。
わたしは、草食なのに肉食のハヤブサと戦ったこいう行動態度に
美しさを感じたのでおとりの仲間関係ないのです。

行動そのもの、事実、美しさを感じたのね!

○おとりのガンド仲間だ。たことすら覚えていられるかも分からないのに
命がけで戦った
△勇かんだなこいいなこは思いうけと美しいこは思わなひかも...
△この物語は大造目線だから本当に残雪が仲間のために戦ったか
...ここのこ

クラスメイトと意見
○仲間を引っぱって堂々とする女
○やられると分かっていてもハヤブサに立ち向かう態度
○大造にやられると分かっていても、セめて頭領としてういげんを
きずつけまいと努力する姿
×仲間を助けることは頭領として当たり前
当たり前なこは美しさを感じない

感じた
理由は、ハヤブサがきりきりたに攻げきししょうとしたのこ
くわなければならぬと草食なのに戦った行動
じたからです。

ヤブサと戦ったこと

感じた

感じたかった

○いやすばらしいとは
思うよ... でも頭領なら
当然じゃん?!
↓
⑤シアさも重要視

まいな〜
感動

児童Sは「美しさ」の決め手は自分の心が動かされたか
どうかだと考えている。

⇒交流しても、気持ちは変わらず

2 「語れる問いで多 ②授業の実際 (4

- ・「語れる問い」を設定し、
～残雪が仲間を救うためにハ

今日の話し

○ 気持ちとかど
もうその行

○ だって肉食
○ だって私だ

Ⓢ 行動

美 した に 私 動 理 和 心
 し くの け が は 申 は リ
 いて いる も と は や 返
 。 心 と し て か っ り
 と か そ 思 が も ン ぼ
 鬼 と や い ン 他 の リ
 っ こ で ま の の 気 残
 ま よ も す 頭 人 狩 雪
 し く い 。 頭 に ち に
 六 て や 残 だ は は は
 。 つ 雪 。 真 分 美
 感 せ だ た 似 か し
 動 と 。 さ て ら さ
 す 戦 て さ な を
 る う 不 怖 な い 感
 か の 定 く い け じ
 ら は は て か と ま
 私 ・ た そ う す
 は と く の で か
 と て さ 場 す ン
 て も ん か 。 の
 も 美 ぶ ら 行

う」の実際

美する。
「しさ」を感じるか～

女うためにハヤブサと戦ったこと

る

感じなかった

造目線なら
分らない...

○ いや素晴らしいとは
思うよ... でも頭領なら
当然じゃん?!

↓

ら、意図を
重要視

Ⓢ しアさを重要視

びび～、いさまいな～
～とか感動

児童HBも「美しさ」の決め手は自分の心が動かされたかどうかだと考えている。
⇒交流しても、気持ちは変わらず

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
 ～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

今日の話し合い

残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったこと

	↓	感じない	いる
感じた	り	頭 仲	造目線だから 分からない...
・気持ちとかどうでもいい もうその行動が美しい	前	領 間	↓
・だって肉食に立ち向か ・だって木が倒たらムリ...	↑	と 去	ち、意図を 重要視
↓ 勇気がいる 優しい心 命がけ	⊙	し 助	⊙ レアさを重要視
⊙ 行動・事実を重要		て け	だよね～、いさまいな～ ～とか感動
		当 る	
		た	

感じなかった

○ いや素晴らしいとは思
うよ... でも頭領なら
当然じゃん?!

児童Sは「美しさ」の決め手は「珍しいもの」だと考えている。頭領が仲間を守るのは当然であり、珍しくはないので、「美しさは感じない」と発言

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」 の実際

②授業の実際 (4/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～残雪が仲間を救うためにハヤブサと戦ったことに「美しさ」を感じるか～

児童Sは「美しさ」の決め手は「貴重なもの・珍しいもの」だと考えている。頭領が仲間を守るのは当然であり、珍しくはないので、**「美しさは感じない」と発言**

T：頭領が仲間を守るのって「当然」なの？他のみんなはどう思う？

C1：例えば、「5年だから下級生に優しくする」っていうのは、求められている役割だとは思いますが、みんながみんなできるわけじゃ無いじゃん？だから「当然」っていうのは少し違和感を感じるかな…

C2：それは分かる。やったほうがいいこととか、やらなきゃいけないことだとは思いますが、それを完璧にいつでもできるっていうのはそうそうないよね。

C3：でもさ、残雪はこれまでも仲間が捕まらないように指導したりしてきたじゃん。だからそういう残雪が仲間を救うために行動するのは、残雪的には当然って感じがする。

T:残雪なら当然っていうのと、頭領なら当然っていうのはまたちょっと話がちがうんじゃないかな？

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (5/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～大造じいさんと向かい合った残雪に美しさを感じるか～

今日の語れる問い
トークテーマ

感じる

正

佐藤 「頭領としてのいげんを保つ」
→ 仲間のため
全体のイメージが悪くなる
印象が変化する

星野 → 自分の子どものため

村上 命だけがなんかやれているのが美しい

★

対象 大造じいさんと向かい合った残雪

心に記す

感じる

正正正

長谷川 「頭領としてのいげんを保つ」
→ 自分のため

三浦 気持ちがあるなら「ますさ」美しいけど...

長岡

感じる

正正

松原 死にゆくためにや/切る = かっこいい
止判

鶴田 ふしぎとは美う
ぐうたりしていればいいのに...

清水 そんなにいほする
→ 大造じいさんに助けを求めている方が「美」
冷静に判断した方がより美。

児童Hは「頭領としてのいげんを保つ」というのは自分のための行動なのでは…と発言

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (5/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～大造じいさんと向かい合った残雪に美しさを感じるか～

今日の語れる問い トークテーマ

対象 大造じいさんと向かい合った残雪

にらみ・じたばたけい → あおめた?

感じる 正正正

「頭領としてのいげんを保つ」 → 仲間のため
全体のイメージが悪くなる (印象が変わる)

星野 → 自分の子どものため

村上 命がけでなんかやっているのが美しい

★ 「いさぎよさ」 美しさ
阿木 (覚悟)

感じる 正正正

「頭領としてのいげんを保つ」 → 自分のため

三浦 気持ちがあるなら「まっすぐ」美しいけど...

(愚図)

感じない 正正

松原 死にぞうために やり切る = かんこい 止判

鶴田 ふしぎとは美う
ぐうたりしていればいいのに...

清水 そんなにいほする
→ 大造じいさんに 助けを求めている方が「美」
冷静に判断した方が

児童Sは「頭領としてのいげんを保つ」というのは仲間のための行動だ

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (5/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。
～大造じいさんと向かい合った残雪に美しさを感じるか～

今日の語らひ
トクテーマ

感じる
正

佐藤 「頭領としての
いけんを保つ」
→ 仲間のため
全体のイメージが悪くなる
印象が変わる

星野 → 自分の子どものため

村上 命だけでなんか
やっているのが美しい

大造じいさんと向かい合った残雪
にらむ・じたはたけい → あらめた?

感じる
正正正

長谷川 「頭領としての
いけんを保つ」
→ 自分のため

三浦 気持ちがあるなら
「ますさ」美しいけど...

長岡

感じる
正正

松原 死にゆくために
や/切る = けがしい
止判

鶴田 ふしぎとは美う
くうたりしていればいいのに...

清水 そんなにいほする
→ 大造じいさんに
助けを求めてい子が
「美」
冷静に判断した方が
より美.

児童SKは「生きるチャンスがあるならば、大造じいさんに助けを求めるとか生き残れる道を探すほうが美」と発言

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (6/10)

- 「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～大造じいさんに美しさを感じたか～

No.7 月 日() ~ 月 日() 5U みんなのふりかえりよ!

2/29(木)
「大造じいさん」に美しさを感じたか? どこに?

感じた 18

①点

- ・じゆうを下ろした
- ・残雪を助けた
- ・ " 放した
- ・ " 見送った

対象

②面

- ・氷ら一連の流れ
- ・大造じいさんの気持ちが変ったこと
- ・大造じいさんの「変わらなかったこと」

悩む 6

- ・大造 → 残雪
- ・大造じいさんが変ったこと

感じかけた 6

③巻

- ・助けるのは当たり前

<p>あは 読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなに腹を立ててもえらいところを見つけてあげるの「美」 →でも、そもそもかたはしてあげたら〜ん... 	<p>えい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どりたい」という愛おしい想い 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんのあざむかない気持ち 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を助けたこと → 可哀、かた、悪い、あは、美 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪い ・大造 → 残雪 ・一方的だし、やめることひきょう 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を助けたこと → 思いやりは美 ・気持ちの変化には美は感じない
<p>ゆり 感じない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化や姿勢が美しいか? 	<p>りお</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敵意に残雪を助けた → 優しい、美しい 	<p>ひき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなに大造がこせ、あはも変わらない想い「どりたい」 	<p>はる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一連の流れ(つらさ)が「美」 	<p>しやま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまえるファンがあはに迷惑した 	<p>かま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンと2回も感じあが分らない → 感じない
<p>せな 読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敵意に残雪を助けた → でも、じゆう下ろした「どたい」なら美しい... 	<p>いれた 読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃がしたの「美」 ・残雪を助けたのは△ 	<p>えな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゆうを下ろした「助けた」△ ・ト一かで見れば○ ・残雪を助けた/残雪を助けた/残雪を助けた → どのも伝史が美 	<p>じゆう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゆうを下ろした → 助けた → (こえた) → 大造じいさん、やれないも「美」 	<p>ゆう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を助けたこと → 当り前でもできない、よい一番あれば美。 	<p>かた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守ても「見守る」が特に「美」 → 見守る = 支える → 意味: なるから、
<p>たから 読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造 → 残雪 ・一方的だから△ 	<p>かた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一連の流れ(じゆう下ろした) → 助けた → 逃がす → 気持ちの変化が美 	<p>じゆう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゆうを下ろした → じゆう下ろす家と助けたという思いが美 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの変化(ひき) → 助けた 	<p>はる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助けた → ○ ・じゆうを下ろした → △ 	<p>かた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の利益のため、傷みたくない気持ちで支えるなら△
<p>いほ 感じない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちで行動に、もともと美しさを感じない 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を保護した → あはに「どたい」を思っていたのに、優しい、真実ではない 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を助けたこと → 美? + あは前? 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪に対する考えが変ったことに美 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪を助けたこと → 当り前でも生活に困るから「美」、あは前は△ 	<p>あは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残雪の行動に心通ったところ → 相手が助ける心 = 美

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (6/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～大造じいさんに美しさを感じたか～

大造じいさんに 美しさ
感じた =

正正正下

① 点

かた じゆうを下ろした
しおし 助けた(保護)
しおし にかした
かじん 見守った

あんな 大造 → 残雪
るか 一方的なこと
↳ 最初 → 最後
変化

感じなかった =
正

わり 助けるのは
当たり前

② 面 大造の気持ちの変化

はる 行動の変化 残雪をとりたいたい / ずっと
田口 大造の気持ち (変わらなかつたこと) ③ 漸 堂々と戦おうと好姿勢

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (7/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。

～大造じいさんの一連の行動（銃を下ろす⇒助ける⇒放す⇒見送る）に美しさを感じたか～

3/2(土) 今日の語れる問い 大造じいさんの一連の行動に美しさを感じるか?

① 点だけ? 面ぞ? → 銃を下ろす → 助ける → 放す → 見送る
② なぜ? (どういふ美しさを感じる?)

A 点で感じる 正	B 面で感じる 正	C 悩む 正F	D 感じない 正T
また残雪の行動に 相手を認められている。目標は変わらないういけど じを重かされる。		銃を下ろした → 残雪をたおす → 自分のカンを助けてくれる残雪をたおすのは...	自分なら やらない → 大造じいさんの「美」と 自分の美
目標 残雪をたおしたい! → 同じ		この話は 大造視線 視線を変えれば ちがうかも...	（加部）自分中心 戦いたくない
（和め）ただの鳥 残雪をたおしたい 戦う方 見方 → おわり		「銃を下ろした」 自分のことだけならやらない	（飯塚）一時的 ひきょう
（清水） （佐藤）			

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (8/10)

- 「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～情景描写に美しさを感じたか～

今日の語れる問い **大造じいさんとガンの表現に美しさを感じるか、否か。**

三浦 感じる 直接伝えず 間接的に深意味 伝えている	田代 感じる 点で見ればある。ヒコと よいところがT	清水 感じてよい なくても意味通じる 入れ必要ある!! オーロラなら美だが 眸にいれば 「当たり前」の風景
飯塚 強調させているのでは...? なぜそれをするのか...		河西 直接説明すれば いいやん ↑ 情景描写で わかりやすくなる (ex) 大造のやる気 役に立つ
	あま 理解して いたい だけ...?	佐藤
		鶴田 私は好きなものに「美」 を感じるの!!

間接的 VS 直接的
わかりやすい

いろいろな読み切り方があり.

立場を決める
感じた!
子〜ある...
感じてん!
美を感じる...はあり!!

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際 ②授業の実際 (8/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～情景描写に美しさを感じたか～

じいさんは、長年の経験で、ガンは、いちばん最初に飛び立ったものの後について飛ぶ、ということを知っていたので、このガンを手に入れたときから、ひとつ、これをおどりに使って、残雪の仲間をどらえてやるうと、考えていたのでした。さて、いよいよ残雪の一群が今年もやって来たというので、大造じいさんは、ぬま地へ出かけていきました。

ガンたちは、昨年じいさんが小屋がけた所から、たまのどくきよりの三倍もはなれている地点を、えさ場にしてるようでした。そこは、夏の出水で大きな水まりができて、ガンのえさ場にあるらしかったのです。

「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」

東の空の真赤燃えて、朝が来ました。

残雪は、いつものように群れの先頭に立って、美しい朝の空を、真一文字に横切ってやって来ました。

やがて、えさ場に下りると、グワア、グワアというやかましい声で鳴き始めました。大造じいさんのむねは、わくわくしてきました。しばらく目をつぶって、心の落ち着くのを待ちました。そして、冷え冷えするじゆうしんをさっつとにぎりしめました。

じいさんは目を閉きました。

「さあ、今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」

くちびるを二、三回静かにぬらしました。そして、あのおどりを飛び立たせるために口笛をふこうと、くちびるをどんがらせました。と、そのとき、ものすごい羽音とともに、ガンの群れが一度にバタバタと飛び立ちました。

「どうしたのだ。」

じいさんは、小屋の外にはい出して見ました。

ガンの群れを目掛けて、白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました。

色の儀—ジ

対比

冷静

大造じいさんのメラメラ燃える心

闘志

やるぞ

情熱

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (8/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～情景描写に美しさを感じたか～

感じていないのよ
理解しているけれど美しさは感じない人もある

理解しているのよ
理解しているけれど美しさは感じない人もある

「大造しいさんとカンの表現に美しさを感じるか？」
「大造しいさんとカンの表現は場面状況も、うきとでも分かりやすくしているけれど、それが無くても大造しいさんと残雪の美しい所を感じられるし、美しい所を支える物だから表現はそれ自体が美しいというより、役に立つ読みやすくなるための物だと思えます。」
効果は感じるけど...というからね！

「らんまん」と「別れ・旅立ち・分かりやすく強調する世界が広がった雪のように」
「残雪と雪の境目」
「今作で残雪と雪の境目」
「残雪と雪の境目」

美しさを感じる
「すぐに深い意味が理解できる。」

直接的 VS 間接的
様々な取られ方

分かる、感じるけれど、間接的に感じているから感じない
直接的
間接的

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (8/10)

- ・「語れる問い」を設定し、議論しながら読み深め、審美する。～情景描写に美しさを感じたか～

あ子！

① **ゆう** Aくん ← 好きじゃない
② 字は「美しい」と思える。
ハムとキュウリ ← 好きじゃない
③ P-トなら「美しい」と思える

④ **清水** △ エビ、カニ、アサリ
食べるのは... △ 美味
○ 盛りつけ ← 美しい

⑤ **かた** 全くない!!
好きじゃないけど
きれいとも
思えない
好きじゃないのに
P-トにされても
きれいさ
美しい。たい

⑥ **あおな** 好きとか嫌いとか
関係ないねん
一方的な視点、いろんな視点から
△ 感じられる。

⑦ **京太** がんばれば 美しい
あ子 ↓ 探さず
きれい = 悪いイメージ
好き = いい "
↑ 美を見つけやすい。

⑧ **ゆかり** ... ある。
好きなもの = あきて、つまらなくする。
⇒ 新しいものをとり入れて「美」を感じる。

⑨ **あ子** 好きじゃないけど
美を感じる...は
ある!!

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

②授業の実際 (9・10/10)

- ・「多様な読みに出会い、もう一度「この作品に美しさはあるのか」、「特に美しさを感じたのはどこか(何か)」を考え、自分の立場を明らかにする。
- ・自分はこの作品を審美したことで、どのようなギフトを手にすることができたかを振り返る。

月 日 曜日

次は堂々と戦いたいと思う暗れ暗れとした気持ちで表れ、美しいと感じました。この作品は情景をえがくことにより、大造じいさんの心情や性格を想像させるなど、いろいろな表現の工夫がなされていて、このように文章を表現できるものはいいと思います。

④私は残雪のように強いリーダーとしての心構えを受け取りました。それはどんなときも仲間を守るといふ強い気持ちと、みんなを引っ張っていくリーダーシップです。それから最高学年になります。強い気持ちとリーダーシップ、この二つのギフトをもらったことで私も六年生になりました。生活田クラブ委員会などでみんなを引っ張っていくリーダーシップを発揮できるように困っている子を助けたり、事前準備をしっかりしてみんなをまとめるために信頼される六年生になりたいと思います。

振り返り

①私はこの大造じいさんとカシの作品全体を通して残雪と大造じいさんの行動と情景描写の美しさが心に残っています。残雪と大造じいさんの行動では残雪が仲間のカシを助けるために小ヤサと戦う場面やハマヤサと戦った残雪が第二の敵(不造じいさん)が来たとき、絶体絶命の危機にもかかかわらず覚悟してジタバタせずに大造じいさんを引っ張った強い姿勢に美しさを感じました。そしてその残雪の姿に心を打たれて、しづを下ろした大造じいさんの行動も正々堂々といて美しいと感じました。情景描写では、らんまんと言ったスモモの花がその羽にふれて雪のまじりに清らかなはらはらと散りました。という表現は大造じいさんが残雪のことをはじめは、いまますます思っています。仲間の立つ立派な姿に感激して

多くの美の定義は気持ちで考え方が変わったものです。だから、一番心に残った美しい所は、残雪の行動に大造じいさんの心が変わっていき、残雪をみとめていた所です。特に大造じいさんが相手をみとめていく所が、相手を認めることほととも大切だったり、意味深いことを知ることが出来ました。

だから、多くはこの物語から、大事にしたほうがよいことというギフトをもらいました。

例えば、残雪があとりのカシを助けた場面では、相手がどうであれ助けてあげることが大事という事です。

つまり、この物語は、人生で生きていくためのヒントを登場人物の行動で伝えていくギフトを読んでいる人に与えてくれると思えました。

多くの美の定義は気持ちや考え方が変わったものです。だから、一番に
残った美しい所は、残雪の行動に大造じいさんの心が変わっていき、
残雪をみとめていく所です。特に大造じいさんが相手をみとめて
いく所が、相手を認めることはとても大切だったり、意味深い
ことを知ることが出来ました。
だから、ぼくはこの物語から、大事にしたほうがよいことという
ギフトをもらいました。

「のたす
るのたす
にす

例えば、残雪がおとりのガンを助けた場面では、相手がどうであ
助けてあげることが大事という事です。

つまり、この物語は、人生で生きていくためのヒントを登場
人物の行動で伝えていく。ギフトを渡している人に与えてい
ると思いました。

へり返り

① 大造じいさんとかんの作品全体を通して、残雪と大造じいさんの行動と情
景描写の美しさを感じました。残雪と大造じいさんの行動では、残雪が
仲間のかんを助けるために、ハヤブサと戦った場面や、ハヤブサと戦った残雪が、第
敵(大造じいさん)が来たとき、絶体絶命の危機にもかかわらず、覚悟してジ
タバタと大造じいさんを倒す姿、美しい姿を感じました。そ
その残雪の姿に心を打たれて、じゅうを下ろした大造じいさんの行動も、正々堂々とし
ていて、美しいと感じました。情景描写では、「らんまん」とか、たすももの花び、その羽に
かいて雪のように清らかなにはらりと散りました。」という表現は、大造じいさんが残
雪の姿をみとめたのは、いま思っています。仲間を思う立派な姿に感激して

次は堂々と戦いたいのと思つた晴れ晴れとした気持ちで、美しいと感じまし
た。この作品は、情景をえがくことにより、大造じいさんの心情や性格を想像させ
るなど、いろいろな表現の工夫がなされていて、このように文章を表現できるよ
り、と思いました。

② 私は、残雪のよう、強いリーダーとしての心構えを受け取りました。それは、ど
んときも仲間を守るといふ強い気持ちと、みんなを引っ張っていくリーダーシップ
が、最高の学年になります。強い気持ちとリーダーシップ、この二つのギフトをも
らったことで、私も六年生になった生活、クラブ、委員会などで、みんなを引っ張ってい
くリーダーシップを発揮できるように困っている子を助けたり、事前準備をしっかり
してみんなをまとめるたりして信頼される六年生になりたいと思います。

多くの美の定義は気持ちや考え方が変わったものです。だから一番に残った美しい所は、残雪の行動に大造じいさんの心が変わっていき、残雪をみとめていく所です。特に大造じいさんが相対する所が、相手を認めることはとても大切だったり、ことを知ることも来ました。だから、よくはこの物語から大事にしたほうがいいギフトをもらいました。

例えば、残雪がおとりのガンを助けた場面では、相手が助けてあげることが大事という事です。

つまり、この物語は、人生で生きていくためのヒト、人物の行動で伝えられているギフトを流している人、ると画、いきました。

」の
るのた
にす

へり返り

① 大造じいさんとかんの作品全体を通して、残雪と大造じいさんの景描写の美しさや心に残っています。残雪と大造じいさんの行動で仲間のガンを助けるために、ハヤブサと戦う場面や、ハヤブサと戦った敵(大造じいさん)が来たとき、絶体絶命の危機にもなかわらず、賞タバタサに大造じいさんをとりつけた強い姿勢に美しさを感じました。その残雪の姿に心を打たれて、じゅうを下ろした大造じいさんの行動も、ていて美しいと感じました。情景描写では、「らんまん」とさしたスモモの花、ふれて雪のように清らかなにはらりと散りました。」という表現は、大造じい雪の心と大造じいさんの心、いまいしく思っていました。仲間を思う立派な姿に

次は堂々と戦いたいのと思つ晴れ晴れとした気持ちで表現して美しかった。この作品は情景をえがくことにより、大造じいさんの心情や性格、などいろいろな表現の工夫がなされていて、このように文章を表現できるといいと思います。

② 私は、残雪のよう、強いリーダーとしての心構えを受け取りました。なごも仲間を守るといふ強い気持ちと、みんなを引っ張っていくリーダー、くれから最高学年になります。強い気持ちとリーダーシップ、この二つのギフトをもったことで私も六年生になった生活、クラブ、委員会などでみんなを引っ張っていき、リーダーシップを発揮できるように困っている子を助けたり、事前準備をしっかりとみんをまとめた、りして信頼される六年生になりたいと思います。

審美することによるギフトは
自分に取り入れるヒントを見つけられること

ふりかえりし

私は結果的に感じます。私がこの学習で心に残った「美」とは物語に考えようが沢山あり無限の考えがてこもること。たった一つの文章なのに考え方が沢山あり深められる音味があふからふふしく「美」だなど思いました。

この大告じいさんとがこでは考え方をギフトとしてももらいました。様々なトークテーマでしん美する時、気持ちの変化に美をかんじさ「それであたりまえじゃん」こんな声を沢山聞き自分と同じ感じないとか感じるとかの立場の人の意見を聞いて「あて私もそう思うけど気が付かなかった」と思っし「え、ちよとそれはちがつかも」って自分の意見を強化することができると違立場の人の意見で「なんか共感できる」「えったしかに」それで意見が変化する。見方によって考え方は変化するけど、見方が分らなかつたら考えられようがないけど今回で、見方としていろんな人の意見をもらい「ニュースや本をみる見方が変化したりして、だからギフトとして「考え方」をもらいました。

ふり返り

この物語は、内容の面でも、表現の方法の面でも美しさを感じました。内容では、行動とその裏にかくれている私にはできない心情に感じます。表現では一部内容にマッチしているところに、「美」を感じます。また、内容にマッチしているのかすくには

判断できなかったり、何を表現しているのか分からない表現にも「美は感じます。なぜなら、不思議で、まわりくどい表現にあえてしてみると読んでいる私たちが「考えよう」がさめるので、思考力が育つからです。そして審美してみて、様々な視点から見ると大切さを学びました。この視点から見ると、○○などこさはいいこぎ、この視点からみると、これは△だから全体的に△などいくつもの視点↓全体は△を考えることも大事でした。この部分ほ□がいければ△とは反対がいかなど反対の美しさを同時に感じることもあったなと思います。そして何より、自分や他人の美の定義、基準を知ることかであることが審美をすること、私が感じた「美」のひとつです。

2 「語れ」授業の

- ・「多様な読（何か）」を
- ・自分はこのイ

ふりかえりし

私は結果的に感じます。私がこの学習で心に残った「美」とは物語に考えようが沢山あり無限の考えがでてくること。たった一つの文章なのに考え方が沢山あり深められる音味があふからふふしく「美」だなと思いました。

この大告じいさんとここでは「考え方をギフト」としてもら
様々なトークテーマでしん美する時「気持ちの変化にま
「それであたりまえじゃん」こんな声を沢山聞き自分と
ないとか感じるとかの立場の人の意見を聞いて「あ、私
うけど気が付かなかった」と思っし「え、ちよとそれはちが
自分の意見を強化することができると違立場の人の
「なんか共感できる」「えったしかに」それで意見が変化す
によって考え方は変化するけど、見方が分からなかった
れようがないけど今回で、見方としていろんな人の音
らい「ニュースや本をみる見方が変化した」して、だか
として「考え方」をもらいました。

ふり返り

この物語は、内容の面でも、表現の方法の面でも美しさを感
行動とその裏にかくれている私にはできない心情に感じます。表現
にマッチしているところに「美」を感じます。また、内容にマッチしている

判断できなかったり、何を表現しているのか分からない表現にも「美は感じ
なら、不思議で、まわりくどい表現にあえてしてみると、読んでいて私
うとがさめるので、思考力が育つからです。そして「審美」してみ、様々
見る大切さを学びました。この視点から見ると、○○などこさはいいこさ
これは△だから全体的に△などいくつもの視点↓全体は△を考えるのと
この部分△が△いければ△は△と反対がいななど反対の美しさを同時
ともあったなと思います。そして何より、自分や他人の美の定義、基準
かであることが審美をすること、私が感じた「美」のひとつです。

- 2 「語れ」
- ② 授業の
- ・ 「多様な読 (何か)」を
- ・ 自分はこのイ

審美する (し合う) ことによるギフトは
人の考え方に触れられること

2 「語れる問いで多様な読みにと ②授業の実際 (9・10/10)

- ・「多様な読みに出会い、もう一度「この作品に(何か)」を考え、自分の立場を明らかにする。
- ・自分はこの作品を審美したことで、どのような

深める
3. 13 審
私はいづれを下ろしてつかまえて放つて見送ったところが一番
ます。つまり、大造じいさんの行動の美しさです。行動そ
美しさを感じました。そして情景描写は、大造じい
を感じるのわかりました。でも「や、こたあせる」という
美しいのは、ええません。でも、深さや表現には美しさを
考えて深められるところ、直、赤に燃える表現が美しい
美しさを感じたギフトは、大造じいさんがかんの中
にもいさせることだと感じます。じいさんの行動を自分
情景描写を書いたりでできます。また、深まるよ
を持ちかけることができます。また、視点と、ギフト
今回、一つの場面に對し色々な考え方がありました
考えた反面で考えたりもしました。このような様
とくれるのだと思えます。

感じたのはどこか
)返る。

審美する（し合う）ことによるギフトは

さまざまな視点から物事を捉えられるようになったこと

2 「語れる問いで多様な読みに出会おう」の実際

③ 単元をふりかえって

